

PRP-FD について

PRP-FD は血小板由来因子濃縮物（Platelet-derived Factor Concentrate Freeze Dry : PFC-FD とも言われます）の略です。PRP 療法は血液から血小板を凝縮し、それを幹部に注入する治療ですが、PRP-FD はこの PRP を高濃度に凝縮し、成長因子だけを抽出します。1 度の採血で 2 部位の治療も可能です。

PRP-FD 療法のメリットとしては、この加工をすると、通常の PRP 療法に比べて、血小板を高濃度に濃縮するので、得られる成長因子も濃度が高くなり、成長因子の総量が 2 倍になることがわかっています（採血量も、通常の PRP 療法が 20ml に対し、PRP-FD が 50ml です）。またフリーズドライ加工をしますので、加工後に成長因子の濃度が時間の経過があっても低下しないというメリットもあります。常温で 6 か月間保存が可能ですので、血液採取後、患者様の都合のいい時に来院し、治療をすることができます。PRP-FD は通常 1 回の採血・注射で効果を期待することができます（通常の PRP 療法は、月に 1 回、合計 3 回の治療を推奨しています）。

デメリットとしては、専門の施設へ郵送し加工となりますので、料金が高くなることがあります。

採血後に、厚生労働省に認可された施設へ郵送し、3 週間後に作製が完了します。この製剤を患部に注射します。

1 回注射 17.6 万円（税込）

当院では変形性膝関節症に対し、通常の PRP 療法を行っております。

他部位には PRP-FD（PFC-FD）を行っております。

詳しくはお問い合わせください。